

Ⅸ 別に策定している個別施設計画概要

1. レクリエーション施設（公園）

「大野市公園施設長寿命化計画」・・・平成28年3月策定（令和2年度改訂予定）

表7 管理の現状（公園）

管理対象都市公園の数	管理対象都市公園の面積	一人当たり都市公園面積
34	41.57ha	13.41ha

※県立公園1箇所を含む

表8 対象公園施設数

園路広場	修景施設	休養施設	遊戯施設	運動施設	教養施設	便益施設	管理施設	災害応急 対策施設	その他	合計
152	58	271	135	6	0	37	554	0	0	1,213

（健全度調査結果）

（1）一般施設、土木構造物、建築物

国交省の公園施設長寿命化計画策定指針により、1,078施設について健全度調査を実施した。

表9 判定一覧（公園施設）

種類	総数	A判定	B判定	C判定	D判定
園路広場	152	94	39	18	1
修景施設	58	47	10	1	0
休養施設	271	83	145	27	16
便益施設	37	16	15	6	0
管理施設	554	320	197	29	8
運動施設	6	6	0	0	0
合計	1,078	566	406	81	25

表 10 健全度判定の評価基準

ランク	評価基準
A	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に健全である。 ・緊急の補修の必要はないため、日常の維持保全で管理するもの。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に健全だが、部分的に劣化が進行している。 ・緊急の補修の必要性はないが、維持保全での管理の中で、劣化部分について定期的な観察が必要なもの。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に劣化が進行している。 ・現時点では重大な事故につながらないが、利用し続けるためには部分的な補修、もしくは更新が必要なもの。
D	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に顕著な劣化である。 ・重大な事故につながる恐れがあり、公園施設の利用禁止あるいは、緊急な補修、もしくは更新が必要なもの。

(2) 遊具等

公園施設業協会が策定した「遊具の安全に関する規準 JPFA-S:2008」により点検を行ってます。

表 11 判定一覧 (遊具等)

種類	総数	A 判定	B 判定	C 判定	D 判定
遊具等	135	13	95	25	2

表 12 健全度判定の評価基準

ランク	評価基準
A	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に健全である。 ・緊急の補修の必要はないため、日常の維持保全で管理するもの。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に健全だが、部分的に劣化が進行している。 ・緊急の補修の必要性はないが、維持保全での管理の中で、劣化部分について定期的な観察が必要なもの。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に劣化が進行している。 ・現時点では重大な事故につながらないが、利用し続けるためには部分的な補修、もしくは更新が必要なもの。
D	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に顕著な劣化である。 ・重大な事故につながる恐れがあり、公園施設の利用禁止あるいは、緊急な補修、もしくは更新が必要なもの。

2. 基盤施設（公営住宅）

「大野市公営住宅等長寿命化計画」・・・令和2年3月

表 13 管理の現状（公営住宅）

団地名		建築年度	棟数	戸数	構造
中挾団地	1号棟	1983	1	18	RC造
	2号棟	1998	1	18	RC造
国時団地	1号棟	1989	1	40	RC造
	2号棟	1989	1	40	RC造
西里団地		1966	20	80	プレキャスト コンクリート造

(総合判定結果)

表 14 木造住宅

団地名	需要	判定
該当なし		

表 15 RC造住宅

団地名	立地	判定
中挾団地	○ 位置条件において利便性施設であるバス停と生活利便施設までの距離が800m以下であり、浸水想定区域0.5m未満で地域バランスや防災の面で大きな問題がみられない。	個別改善/長寿命化型+居住性向上型 (+福祉対応型)
国時団地	○ 位置条件において利便性施設であるバス停と生活利便施設までの距離が800m以下であり、浸水想定区域0.5m未満で地域バランスや防災の面で大きな問題がみられない。	個別改善/居住性向上型 (+福祉対応型) ※長寿命型 (屋上防水・外壁・屋内外給排水管) は改修済
西里団地	△ 位置条件において利便性施設であるバス停までの距離のみが800m以下であり、浸水想定区域の指定はなく地域バランスや防災の面で大きな問題がみられない。	用途廃止

3. 文教施設（学校）「(仮) 学校施設管理計画」・・・令和3年3月策定予定

表 16 小中学校一覧

学校名	棟名	建築年度	構造
有終西 小学校	普通教室棟	H 1 8	S
	講堂棟、体育館棟	H 1 8	S
	特別教室棟	H 1 8	S
有終南 小学校	特別教室棟	S 5 5	R C
	普通教室棟（北）	S 5 5	R C
	普通教室棟（南）	S 5 5	R C
	体育館棟	S 5 6	R C
有終東 小学校	普通教室棟	S 5 3	R C
	特別教室棟	S 5 3	R C
	体育館棟	S 5 3	R C
小山 小学校	普通教室棟	S 6 2	R C
	管理・特別教室棟	S 6 2	R C
	体育館棟	S 6 2	R C
	玄関棟	S 6 2	R C
乾側 小学校	東棟、西棟	S 5 4	W
	体育館棟	S 5 4	W
下庄 小学校	普通教室棟（北）	H 2 1	R C
	普通教室棟（南）	S 5 9	R C
	体育館棟	H 1	R C
上庄 小学校	普通教室棟、特別教室棟	S 5 8	R C
	普通教室棟	S 5 8	R C
	体育館棟	S 5 8	R C
阪谷 小学校	普通教室棟	S 6 3	R C
	特別教室棟	S 5 6	R C
	体育館棟	S 5 6	R C
富田 小学校	普通教室・管理室棟	H 1 5	W
	特別教室棟	H 1 5	R C
	食堂棟	H 1 6	R C
	体育館棟	S 5 1	R C
開成 中学校	特別教室棟（北）	S 5 0	R C
	普通教室棟	S 4 9	R C
	特別教室棟（西）	S 5 0	R C
	体育館棟	S 5 0	R C

陽明 中学校	普通教室棟	S 4 7	R C
	特別教室棟（南）	S 4 8	R C
	特別教室棟（東）	H 4	R C
	体育館棟	S 4 9	R C
上庄 中学校	管理棟	S 6 2	R C
	特別教室棟	S 6 2	R C
	管理室棟、特別教室棟	S 6 3	R C
	体育館棟	S 6 3	R C
尚徳 中学校	管理室棟	S 3 8	R C
	普通教室棟	S 3 6	R C
	玄関棟	H 1 3	S
	体育館棟	H 1 3	S
和泉 小中学校 (保育園)	普通教室、管理棟	H 1 8	R C
	特別教室棟	S 6 3	R C
	体育館棟	S 6 0	R C

学校敷地の中には複数の建物が建っており、建設年度や構造も様々であることから、施設管理計画の対象では小中学校の校舎、体育館等（概ね 200 m²以上）で、建設年度や改築や改修を一体に実施することが想定される棟をまとめて1つの建物として整理します。

令和元年度に実施した、建物内外装、設備を目視確認した結果と、令和2年度に建物のコンクリートの圧縮強度と中性化状況を測定した結果から、建物が長寿命化に適しているかを判断していきます。

また、現段階で、長寿命化を行う時期の目安とされる建築から45年を経過する建物（昭和50年以前建築）は12棟あります。今後は、令和3年度に策定される大野市小中学校再編計画の改訂を待って、改築、長寿命化、大規模改修若しくは廃止を行っていきます。

4. 上水道・簡易水道 「令和2年度 大野市営水道事業基本計画（大野市水道事業ビジョン）」・・・令和2年7月策定

事業		大野市 上水道事業	西富田地区 簡易水道事業	富田地区 簡易水道事業	荒島地区 簡易水道事業	木本地区 簡易水道事業	菖蒲池地区 簡易水道事業	北富田地区 簡易水道事業	阪谷第一地区 簡易水道事業	南富田地区 簡易水道事業	下庄北部地区 簡易水道事業	和泉地区 簡易水道事業	阪谷第二地区 簡易水道事業
事業創設年月		1979(昭和54)年4月	1964(昭和39)年12月	1966(昭和41)年4月	1958(昭和33)年4月	1966(昭和41)年12月	1975(昭和50)年4月	1986(昭和61)年2月	1998(平成10)年10月	2001(平成13)年10月	2002(平成14)年10月	2005(平成17)年11月	2009(平成21)年6月
給水区域		市街地一円	下麻生嶋、川上、井ノ口、田野の一部	土打、上野	佐間、木落、蔵生	大西出、中西出、中村町、荒子町、木本領家	菖蒲池	新田、富嶋、新河原、森目、土布子	義道、橋爪	塚原、新塚原、富塚、田野の一部	大矢戸、小矢戸	角野、板倉、朝日、ぶなの木台、貝皿、川合、坂無、池ヶ島、岡畑、後野、上大納、下大納	伏石、森本、松丸、大月、石谷
既認可値	計画給水人口(人)	15,000	1,280	825	1,490	1,400	420	777	326	490	340	551	505
	計画給水量(施設能力)(m ³ /日)	4,400	192	287	231	210	69	372	182	232	102	433	333
取水施設	水源概要	地下水(深井戸)	地下水(深井戸)	地下水(深井戸)	伏流水	伏流水	地下水(深井戸)	地下水(深井戸)	地下水(深井戸)	地下水(深井戸)	地下水(深井戸)	地下水(深井戸) ・ 伏流水	地下水(深井戸)
	施設	・第1~4号取水井 (その他予備井有 (旧中保簡水))	・第1取水井 ・第2取水井	・富田水源	・鬼谷水源 (その他予備水源有)	・向谷水源 ・遠藤第1~4水源	・菖蒲池水源	・第1取水井 ・第2取水井	・第1取水井 ・第2取水井	・南富田水源	・下庄北部水源	〈朝日地区〉・角野1号水源(深井戸) (下山地区)・坂無水源(伏流水) (後野地区)・後野取水井(深井戸) (大納地区)・大納取水井(深井戸) (その他朝日、大納地区に予備水源有)	・阪谷第二水源
	計画取水量(m ³ /日)	4,400	211	316	254	231	69	409	200	255	112	495	366
浄水施設	浄水方法	塩素滅菌	塩素滅菌	塩素滅菌	塩素滅菌	塩素滅菌	塩素滅菌	塩素滅菌	除鉄・除マンガ 急速ろ過方式	塩素滅菌	塩素滅菌	塩素滅菌	除鉄・除マンガ 急速ろ過方式
	施設	-	-	-	-	-	-	-	阪谷第一浄水場	-	-	-	阪谷第二浄水場
	計画浄水量(m ³ /日)	4,400	211	316	254	231	69	409	182	255	112	495	333
配水施設	配水方式	配水池 (自然流下) 圧力タンク (ポンプ圧送)	配水池 (自然流下)	圧力タンク (ポンプ圧送)	配水池 (自然流下)	配水池 (自然流下)	圧力タンク (ポンプ圧送)	圧力タンク (ポンプ圧送)	配水池 (自然流下)	圧力タンク (ポンプ圧送)	配水池 (自然流下)	配水池 (自然流下)	配水池 (自然流下)
	施設	・南部配水場管理棟 ・南部配水池 RC V=840m ³ ・圧力タンク V=20m ³	・西富田配水池 RC V=116.9m ³	・富田配水場 ・富田圧力タンク V=m ³	・佐間配水池 RC V=58m ³ ・大原配水池 RC V=80m ³	・向谷配水池 RC V=150.2m ³ ・遠藤配水池 RC V=2.25m ³ ・蔦谷配水池 RC V=93m ³	・菖蒲池配水場 ・菖蒲池圧力タンク V=4.2m ³	・北富田第一配水場 ・第一圧力タンク V=25m ³ ・北富田第二配水場 ・第二圧力タンク (高区) V=25m ³ (低区) V=3m ³	・義道配水池 RC V=140m ³	・南富田配水場 ・南富田圧力タンク V=2.1m ³	・下庄北部配水池 PC V=115m ³	〈朝日地区〉・朝日配水池 V=217m ³ (下山地区)・下山配水池 V=44m ³ (後野地区)・後野配水池 V=47.6m ³ (大納地区)・大納配水池 V=81m ³	・阪谷第二配水池 SUS V=204m ³
2017 (平成29) 年度 実績値	給水区域内人口(人)	23,151	774	415	665	649	286	556	267	387	282	474	376
	現在給水人口(人)	4,572	662	386	617	580	174	520	243	313	265	436	321
	一日平均給水量(m ³ /日)	1,323	239	257	193	170	16	100	51	40	35	194	90
	一日最大給水量(m ³ /日)	2,235	353	379	211	296	18	293	96	78	56	186	171
今回推計値	採用年度	2029年度	2018年度	2018年度	2018年度	2018年度	2018年度	2018年度	2018年度	2018年度	2018年度	2018年度	2018年度
	計画給水人口(人)	5,210	652	382	613	572	173	518	236	311	262	432	317
	計画一日最大給水量(m ³ /日)	2,600	325	335	232	236	23	171	78	73	56	264	130
課題	安全	-	-	-	・水源水質が不安定(伏流水) ・水源の維持管理が困難(場所不明)	・水源水質が不安定(伏流水) ・水源の維持管理が困難(アクセスが困難)	-	・水源能力の低下	-	-	・水源水質が不安定(鉄 /バクテリアによる赤水)	・水源水質が不安定(伏流水、下山地区)	-
	強靱	・事業間の緊急時連絡 管が無い	-	・代替水源が無い ・配水方式が圧力タンク	-	・事業間の緊急時連絡 管が無い	・配水方式が圧力タンク	・配水方式が圧力タンク	-	・配水方式が圧力タンク	・代替水源が無い ・事業間の緊急時連絡 管が無い	-	・代替水源が無い
	持続	・施設の老朽化 ・施設利用率が低い ・有収率が低い	・施設の老朽化 ・有収率が低い	・施設の老朽化 ・有収率が低い	・施設の老朽化 ・有収率が低い ・料金が著しく安い	・施設の老朽化 ・有収率が低い ・料金が著しく安い	・施設の老朽化 ・有収率が低い ・施設利用率が低い	・施設の老朽化 ・有収率が低い ・施設利用率が低い	・施設利用率が低い	・施設利用率が低い	・施設利用率が低い	・施設の老朽化 ・施設利用率が地区によっては かなり低い ・人口減少が著しい ・他簡水との統合が難しい	・施設利用率が低い

5. 公共下水道・農業集落排水

(1) 公共下水道

「大野市下水道ストックマネジメント計画」・・・令和元年12月策定

(対象施設)

- ・名称 大野市下水処理センター
- ・位置 大野市 南新在家
- ・供用開始日 平成15年4月
- ・排除方式 分流式
- ・処理能力 6,000m³/日 (計画1日最大汚水量)

表 17 資産リスト総括表 (公共下水道)

工種	資産数
土木建築	136
機械設備	35
電気設備	41

表 18 調査結果 (公共下水道)

工種	総数	A判定	B判定	C判定	D判定
土木建築	136	74	62	0	0
機械設備	35	22	10	3	0
電気設備	41	16	19	6	0

※不具合の起こりやすさの検討として、各施設の目標耐用年数において、算定式を設定し劣化の度合により判定します。

表 19 健全度判定の評価基準

ランク	評価基準
A	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に健全である。 ・緊急の補修の必要はないため、日常の維持保全で管理するもの。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に健全だが、部分的に劣化が進行している。 ・緊急の補修の必要性はないが、維持保全での管理の中で、劣化部分について定期的な観察が必要なもの。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に劣化が進行している。 ・現時点では重大な事故につながらないが、利用し続けるためには部分的な補修、もしくは更新が必要なもの。
D	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に顕著な劣化である。 ・重大な事故につながる恐れがあり、処理施設の利用禁止あるいは、緊急な補修、もしくは更新が必要なもの。

【平成30年度 大野市公共下水道 スtockマネジメント実施方針策定業務委託より】

(2) 農業集落排水

「農業集落排水事業 大野市最適整備構想」・・・令和2年3月策定

(対象施設…①)

- ・名称 阿難祖地区農業集落排水処理施設
- ・処理区域 大野市 阿難祖地頭方、阿難祖領家
- ・供用開始日 平成3年1月
- ・排除方式 分流式
- ・処理能力 119m³/日 (計画1日最大処理水量)

表20 資産リスト総括表 (農集①)

工種	資産数
土木建築	44
機械設備	32
電気設備	5

表21 施設機能診断評価結果 (農集①)

工種	総数	A判定	B判定	C判定	D判定
土木建築	44	19	23	2	0
機械設備	32	6	26	0	0
電気設備	5	0	5	0	0

※各施設の耐用年数より、経過年数に比例して劣化が進行する、耐用年数型を用いて判定します。

【令和元年度 農業集落排水事業大野市最適整備構想策定業務委託より】

(対象施設…②)

- ・名称 佐開地区農業集落排水処理施設
- ・処理区域 大野市 佐開
- ・供用開始日 平成4年10月
- ・排除方式 分流式
- ・処理能力 66m³/日 (計画1日最大処理水量)

表22 資産リスト総括表 (農集②)

工種	資産数
土木建築	42
機械設備	24
電気設備	7

表 23 施設機能診断評価結果（農集②）

工種	総数	A 判定	B 判定	C 判定	D 判定
土木建築	35	18	16	1	0
機械設備	24	3	19	2	0
電気設備	7	1	6	0	0

※土木建築7工種評価なし

※各施設の耐用年数より、経過年数に比例して劣化が進行する、耐用年数型を用いて判定します。

【令和元年度 農業集落排水事業大野市最適整備構想策定業務委託より】

(対象施設…③)

- ・名称 南六呂師地区農業集落排水処理施設
- ・処理区域 大野市 南六呂師
- ・供用開始日 平成7年1月
- ・排除方式 分流式
- ・処理能力 264 m³/日（計画1日最大処理水量）

表 24 資産リスト総括表（農集③）

工種	資産数
土木建築	42
機械設備	70
電気設備	14

表 25 施設機能診断評価結果（農集③）

工種	総数	A 判定	B 判定	C 判定	D 判定
土木建築	42	4	38	0	0
機械設備	70	0	62	7	1
電気設備	14	0	12	2	0

※各施設の耐用年数より、経過年数に比例して劣化が進行する、耐用年数型を用いて判定します。

【令和元年度 農業集落排水事業大野市最適整備構想策定業務委託より】

(対象施設…④)

- ・名称 下唯野地区農業集落排水処理施設
- ・処理区域 大野市 下唯野
- ・供用開始日 平成7年1月
- ・排除方式 分流式
- ・処理能力 96 m³/日（計画1日最大処理水量）

表 26 資産リスト総括表（農集④）

工種	資産数
土木建築	49
機械設備	41
電気設備	7

表 27 施設機能診断評価結果（農集④）

工種	総数	A 判定	B 判定	C 判定	D 判定
土木建築	49	3	46	0	0
機械設備	41	0	38	3	0
電気設備	7	0	7	0	0

※各施設の耐用年数より、経過年数に比例して劣化が進行する、耐用年数型を用いて判定します。

【令和元年度 農業集落排水事業大野市最適整備構想策定業務委託より】

（対象施設…⑤）

- ・ 名 称 上庄第一地区農業集落排水処理施設
- ・ 処 理 区 域 大野市 吉、北御門、医王寺、開発、森政地頭、森政領家
- ・ 供用開始日 平成9年7月
- ・ 排 除 方 式 分流式
- ・ 処 理 能 力 245m³/日（計画1日最大処理水量）

表 28 資産リスト総括表（農集⑤）

工種	資産数
土木建築	55
機械設備	30
電気設備	5

表 29 施設機能診断評価結果（農集⑤）

工種	総数	A 判定	B 判定	C 判定	D 判定
土木建築	55	43	12	0	0
機械設備	30	21	7	1	1
電気設備	5	1	4	0	0

※各施設の耐用年数より、経過年数に比例して劣化が進行する、耐用年数型を用いて判定します。

【令和元年度 農業集落排水事業大野市最適整備構想策定業務委託より】

(対象施設…⑥)

- ・名称 稲郷・野中地区農業集落排水処理施設
- ・処理区域 大野市 稲郷、野中
- ・供用開始日 平成9年7月
- ・排除方式 分流式
- ・処理能力 245 m³/日 (計画1日最大処理水量)

表 30 資産リスト総括表 (農集⑥)

工種	資産数
土木建築	80
機械設備	36
電気設備	7

表 31 施設機能診断評価結果 (農集⑥)

工種	総数	A判定	B判定	C判定	D判定
土木建築	80	40	40	0	0
機械設備	36	7	24	5	0
電気設備	7	0	7	0	0

※各施設の耐用年数より、経過年数に比例して劣化が進行する、耐用年数型を用いて判定します。

【令和元年度 農業集落排水事業大野市最適整備構想策定業務委託より】

(対象施設…⑦)

- ・名称 阪谷第一地区農業集落排水処理施設
- ・処理区域 大野市 橋爪、藁道、落合
- ・供用開始日 平成10年8月
- ・排除方式 分流式
- ・処理能力 156 m³/日 (計画1日最大処理水量)

表 32 資産リスト総括表 (農集⑦)

工種	資産数
土木建築	43
機械設備	40
電気設備	6

表 33 施設機能診断評価結果 (農集⑦)

工種	総数	A判定	B判定	C判定	D判定
土木建築	43	2	41	0	0
機械設備	34	0	24	8	2
電気設備	6	0	4	2	0

※各施設の耐用年数より、経過年数に比例して劣化が進行する、耐用年数型を用いて判定します。

※機械設備6工種評価なし

【令和元年度 農業集落排水事業大野市最適整備構想策定業務委託より】

(対象施設…⑧)

- ・ 名 称 上庄第二地区農業集落排水処理施設
- ・ 処 理 区 域 大野市 友兼、御給、東山、下五条方
- ・ 供用開始日 平成11年1月
- ・ 排 除 方 式 分流式
- ・ 処 理 能 力 208 m³/日 (計画1日最大処理水量)

表 34 資産リスト総括表 (農集⑧)

工種	資産数
土木建築	56
機械設備	29
電気設備	6

表 35 施設機能診断評価結果 (農集⑧)

工種	総数	A 判定	B 判定	C 判定	D 判定
土木建築	56	40	15	1	0
機械設備	29	7	18	4	0
電気設備	6	2	4	0	0

※各施設の耐用年数より、経過年数に比例して劣化が進行する、耐用年数型を用いて判定します。

【令和元年度 農業集落排水事業大野市最適整備構想策定業務委託より】

(対象施設…⑨)

- ・ 名 称 黒谷地区農業集落排水処理施設
- ・ 処 理 区 域 大野市 上黒谷、下黒谷
- ・ 供用開始日 平成12年4月
- ・ 排 除 方 式 分流式
- ・ 処 理 能 力 73 m³/日 (計画1日最大処理水量)

表 36 資産リスト総括表 (農集⑨)

工種	資産数
土木建築	42
機械設備	32
電気設備	12

表 37 施設機能診断評価結果 (農集⑨)

工種	総数	A 判定	B 判定	C 判定	D 判定
土木建築	42	33	9	0	0
機械設備	32	0	28	4	0
電気設備	12	0	10	2	0

※各施設の耐用年数より、経過年数に比例して劣化が進行する、耐用年数型を用いて判定します。

【令和元年度 農業集落排水事業大野市最適整備構想策定業務委託より】

(対象施設…⑩)

- ・ 名 称 上庄西部地区農業集落排水処理施設
- ・ 処 理 区 域 大野市 上据、下郷、中据、猪島、下据
- ・ 供用開始日 平成14年4月
- ・ 排 除 方 式 分流式
- ・ 処 理 能 力 304 m³/日 (計画1日最大処理水量)

表 38 資産リスト総括表 (農集⑩)

工種	資産数
土木建築	87
機械設備	81
電気設備	9

表 39 施設機能診断評価結果 (農集⑩)

工種	総数	A 判定	B 判定	C 判定	D 判定
土木建築	87	23	64	0	0
機械設備	68	0	60	7	1
電気設備	9	0	9	0	0

※機械設備13工種評価なし

※各施設の耐用年数より、経過年数に比例して劣化が進行する、耐用年数型を用いて判定します。

【令和元年度 農業集落排水事業大野市最適整備構想策定業務委託より】

(対象施設…⑪)

- ・ 名 称 富田中部地区農業集落排水処理施設
- ・ 処 理 区 域 大野市 土打、上野、富塚、下麻生嶋、川上
- ・ 供用開始日 平成15年10月
- ・ 排 除 方 式 分流式
- ・ 処 理 能 力 462 m³/日 (計画1日最大処理水量)

表 40 資産リスト総括表 (農集⑪)

工種	資産数
土木建築	41
機械設備	53
電気設備	20

表 41 施設機能診断評価結果（農集⑪）

工種	総数	A 判定	B 判定	C 判定	D 判定
土木建築	4 1	2 8	1 3	0	0
機械設備	5 3	0	4 8	5	1
電気設備	2 0	0	1 2	8	0

※各施設の耐用年数より、経過年数に比例して劣化が進行する、耐用年数型を用いて判定します。

【令和元年度 農業集落排水事業大野市最適整備構想策定業務委託より】

(対象施設…⑫)

- ・名 称 上庄南部地区農業集落排水処理施設
- ・処 理 区 域 大野市 上五条方、今井、平沢、西山、森山
- ・供用開始日 平成16年10月
- ・排 除 方 式 分流式
- ・処 理 能 力 330 m³/日（計画1日最大処理水量）

表 42 資産リスト総括表（農集⑫）

工種	資産数
土木建築	3 0
機械設備	4 6
電気設備	1 9

表 43 施設機能診断評価結果（農集⑬）

工種	総数	A 判定	B 判定	C 判定	D 判定
土木建築	3 0	1 2	1 7	1	0
機械設備	4 6	0	3 9	5	2
電気設備	1 9	0	1 8	1	0

※各施設の耐用年数より、経過年数に比例して劣化が進行する、耐用年数型を用いて判定します。

【令和元年度 農業集落排水事業大野市最適整備構想策定業務委託より】

(対象施設…⑬)

- ・名 称 木本地区農業集落排水処理施設
- ・処 理 区 域 大野市 大西出、中西出、中村町、荒子町、木本領家
- ・供用開始日 平成16年12月
- ・排 除 方 式 分流式
- ・処 理 能 力 288 m³/日（計画1日最大処理水量）

表 44 資産リスト総括表（農集⑬）

工種	資産数
土木建築	29
機械設備	49
電気設備	17

表 45 施設機能診断評価結果（農集⑬）

工種	総数	A 判定	B 判定	C 判定	D 判定
土木建築	29	13	16	0	0
機械設備	49	0	49	0	0
電気設備	17	0	13	4	0

※各施設の耐用年数より、経過年数に比例して劣化が進行する、耐用年数型を用いて判定します。

【令和元年度 農業集落排水事業大野市最適整備構想策定業務委託より】

（対象施設…⑭）

- ・名称 富田南部地区農業集落排水処理施設
- ・処理区域 大野市 田野、井ノ口、塚原、蕨生
- ・供用開始日 平成20年4月
- ・排除方式 分流式
- ・処理能力 472 m³/日（計画1日最大処理水量）

表 46 資産リスト総括表（農集⑭）

工種	資産数
土木建築	37
機械設備	51
電気設備	14

表 47 施設機能診断評価結果（農集⑭）

工種	総数	A 判定	B 判定	C 判定	D 判定
土木建築	37	18	19	0	0
機械設備	51	0	51	0	0
電気設備	14	0	14	0	0

※各施設の耐用年数より、経過年数に比例して劣化が進行する、耐用年数型を用いて判定します。

【令和元年度 農業集落排水事業大野市最適整備構想策定業務委託より】

（対象施設…⑮）

- ・名称 阪谷中部地区農業集落排水処理施設
- ・処理区域 大野市 伏石、森本、松丸、石谷、大月、御領
- ・供用開始日 平成22年4月
- ・排除方式 分流式
- ・処理能力 222 m³/日（計画1日最大処理水量）

表 48 資産リスト総括表（農集⑮）

工種	資産数
土木建築	4 2
機械設備	5 7
電気設備	1 6

表 49 施設機能診断評価結果（農集⑮）

工種	総数	A 判定	B 判定	C 判定	D 判定
土木建築	4 2	4 2	0	0	0
機械設備	5 7	0	5 3	4	0
電気設備	1 6	0	1 5	1	0

※各施設の耐用年数より、経過年数に比例して劣化が進行する、耐用年数型を用いて判定します。

【令和元年度 農業集落排水事業大野市最適整備構想策定業務委託より】

6. 道路（市道）

(1) 舗装（市道）

「大野市道路施設長寿命化計画（舗装）」・・・令和3年3月策定

表 50 管理の現状（市道）

道路区分	管理延長	舗装延長		舗装率
		As 舗装	Co 舗装	
1 級市道	66.2 km	60.1 km	0.5 km	91.54%
2 級市道	45.6 km	44.9 km	0.3 km	99.12%
その他市道	391.7 km	327.0 km	11.2 km	86.34%
計	503.5 km	432.0 km	12.0 km	88.18%

(2) 消雪（市道）

「大野市消雪施設個別施設計画」・・・令和2年12月修正

表 51 消雪施設の現状

計画の対象施設	大野地区		和泉地区		計	
	施設数	延長 (m)	施設数	延長 (m)	施設数	延長 (m)
施設の所有が大野市であるもの	13	5,215.2	5	1,193.2	18	6,408.4

(3) 道路照明灯（市道）

「大野市道路施設長寿命化計画（道路照明灯）」・・・令和3年3月策定
予定

表 52 道路照明灯の管理基数

設置箇所数	設置基数
92箇所	100基

(4) 歩道（市道）

「大野市道路施設長寿命化計画（歩道）」・・・令和3年3月策定

表 53 歩道の現状

舗装種類	As 舗装	Co 舗装	平板ブロック	カラー As 舗装	インターロッキング ブロック	合計
延べ延長 (km)	43.2	2.8	1.5	0.7	2.6	50.8

(5) 街路樹

「大野市道路施設長寿命化計画（街路樹）」・・令和3年3月策定

表 54 街路樹の現状

No	路線名	樹木名	植栽年 ※1	樹齢	延長 (m)		樹木本数 (本)		植樹樹数 (箇所)	
					左※2	右	左	右	左	右
1	北大野駅上中野線	ソメイヨシノ	S62	34	515	638	31	22	51	54
2	下中野・中津川線	トチ	S55	41	594	317	51	16	58	28
3	駅東線	ハナミズキ	H22	11	363	180	29	17	36	18
4	駅前清滝線	トウカエデ	S62	34	263	263	27	25	27	25
5	鉾掛・新庄・東中線	コブシ	S61	35	1,750	1,678	130	133	174	169
6	東中中挾南新在家線	ケヤキ	S55	41	192	216	22	20	23	22
		トチ	S55	41	1,122	—	135	—	170	—
7	中野友江線	ヤマボウシ	H22	11	300	308	30	26	34	28
8	石灯籠線	マツ	S57	39	—	160	—	6	—	6
9	清滝線	イチョウ	S57	39	999	909	89	84	103	94
10	春日線	ハナミズキ	H12	21	639	623	62	53	68	65
11	中挾東西2号線	コブシ	S59	37	115	115	9	6	13	13
12	中挾南北1号線	コブシ	S59	37	594	586	27	38	56	55
13	上神明・明治線	モクレン	H3	30	737	729	66	69	76	78
		ソメイヨシノ	H3	30	102	87	9	7	11	9
14	明治公園線	ソメイヨシノ	H3	30	346	465	—	32	—	40
15	シンボルロード (国道158号)	ブナ	H5	28	384	433	31	28	39	47
		ソメイヨシノ	H5	28	—	—	1	3	1	3
合 計				平均 32	9,015	7,707	749	585	940	754
							1,334		1,694	

※1 No3、No7、No11～No14の植栽年は各区画整理事業の完了年とし、その他は路線指定年としています。

※2 路線の起点から終点に向かって左側を左、右側を右としています。

8. 橋梁（市道）

「大野市橋梁長寿命化計画」・・・令和2年3月策定

(管理の現状)

橋梁数（2m以上の全橋梁）444橋

長寿命化修繕計画の対象は橋長2m以上の444橋で、全ての橋梁の計画を策定済です。

現時点では、架設した年が分かる橋梁のうち、建設後50年以上経過する高齢化橋梁は45橋（35%）ですが、20年後には101橋

（79%）となり、橋梁の高齢化が急速に進行しています。

8. 農林業施設

表 55 管理の現状（林道）

林道	総延長	舗装延長
自動車道 1 級	46,973m	23,507m
自動車道 2 級	156,867m	89,197m
自動車道 3 級	31,198m	8,531m
軽車道	4,436m	1,078m
計	239,474m	122,313m

舗装率： 51.1%

(1) 橋梁（林道）

「林道施設長寿命化計画」・・・令和 2 年 3 月策定

(管理の現状)

橋梁数（4m以上の全橋梁） 131 橋（4m未満の橋梁 7 橋）

長寿命化修繕計画対象 → 橋長 4m 以上の 131 橋 計画策定済。

供用開始後 50 年以上経過 30 橋（供用年数不明 51 橋）

健全性区分「Ⅰ」 8 橋

健全性区分「Ⅱ」 48 橋

健全性区分「Ⅲ」 49 橋

健全性区分「Ⅳ」 26 橋

表 56 健全度判定の評価基準

区 分		状 態
I	健 全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に素地を講ずるべき状態。
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は可能性が著しく高く、緊急に素地を講ずるべき状態

(2) トンネル

「林道施設長寿命化計画」・・・平成 31 年 3 月策定

(管理の現状)

九十九廻坂トンネル 1 本 (福井市と大野市が共同で管理)

供用開始後 17 年

健全性区分「Ⅱ」: 1 本

表 57 健全度判定の評価基準

区 分		状 態
I	健 全	トンネルの機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	トンネルの機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	トンネルの機能に支障が生じる可能性があり、早期に素地を講ずるべき状態。
IV	緊急措置段階	トンネルの機能に支障が生じている、又は可能性が著しく高く、緊急に素地を講ずるべき状態。

(3) スノーシェッド

「林道施設長寿命化計画」・・・令和2年3月策定

(管理の現状)

亥向谷線（大野市上打波） 2施設

供用年数不明 2施設

健全性区分「Ⅱ」：2施設

表 58 健全度判定の評価基準

区 分		状 態
I	健 全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に素地を講ずるべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は可能性が著しく高く、緊急に素地を講ずるべき状態

